議会報告会　会場報告書

担当班：1 班　　班代表者：　　渡辺　拓道

概要			
地区名　：今田地区 日時　　：令和 4 年 5 月 30 日（月） 19：30～：21：00 場所　　：今田まちづくりセンター 参加人数：8 人(男 7 人・女 1 人)	【出席議員】 渡辺拓道 上田英樹 大西基雄 原田豊彦 園田依子	（1）開会あいさつ　：渡辺 拓道 （2）議会報告　　：DVD 参照 （3）質疑応答　　：下記参照 （4）意見・提言等　：下記参照 （5）閉会あいさつ　：園田 依子	挨拶・総括　　：渡辺 拓道 司会進行　　：前田 えり子 報告　　：大西 基雄 記録　　：原田 豊彦 会場（マイク）　：園田 依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・中山間地域の公共交通、SDG s にもつながる公共交通「デマンドタクシー」を紹介したい。 　丹波市は公共交通課を設けて市をあげて取り組まれている。西脇市の「むすブン」は非常に参考になる。市役所が受付を担当し、タブレットを持	・具体的な良い提案をいただき、西脇市のシステムについても検討に値する提案であると認識しました。 　ドア to ドアを実施するには効率的な運行や予約の管理も正確に行う必要があり、そこで出てくる課題や取り組みについても、西脇市の「むすブン」について、

った運転手に情報が伝わる。面積が 132 ㎢と丹波篠山市の 1 /3 程度なので、効率が良い。利用者はドア to ドアでないと受け入れられない。利用者を会員で募り、その会費である程度の財源に充当されたい。	議員間で情報共有させていただきます。
・ふるさと納税について、市は力を入れておられる。小麦アレルギーを持つ方には、米粉のビーフンは欠かせない食材。ただ、人気のある市内食品会社のビーフンは、調味料が小麦なのでアレルギー対応食品ではない。そのあたりをしっかり対応した返礼品作成にご協力いただけたら、私たちと似た悩みを持つ方々に喜ばれ、ふるさと納税も進むのではないか。 ・自治会の回覧で黄色いオオキンケイギクを駆除しよう！と回ってきた。三田幹線沿いにもはびこっている。回覧を回すだけでは駆除につながらない。行政が道路沿いの草刈りをするときに、「50 ㎝だけ民地の草刈りをいたします」というようなことを PR して進めれば良いのではないか。 ・「モルク」というゲームがおもしろい。今田ソフトボール大会の片隅でプレイした。体力がない方と健常者が対等に戦える点が面白いので今後普及させたい。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・市長が行う「ふるさと一番会議」は意味があるが、議会報告会は何が目	・議会報告会の目的については、市内の課題について各地域に出向いてお伺いするもので

的かよくわからない。報告内容も市の事業ばかりで、信頼される議会には遠いと思う。 　地域の課題をまとめて提案するなど、地域密着型の運営をしていただくと、信頼される議会になると思う。 　丹波篠山市に住み続けるために、こういう提案をした、こういう予算を作ったといった報告の方が嬉しい。	す。その課題を議員全員で共有し、議会としてまとめて解決策等について市に提案していきます。第 2 部については、お伺いしたい内容をテーマとしてより絞り込んでいるものです。 ・いただいたご意見は議会で共有します。
・テーマだけでは議論できないので、データを示してほしい。 ・今田の生活圏は東条や西脇にも及び、人間関係においても複雑になっており、どうしたらいいか分からない。	・今田の人口だけ見ると 15 年前は 4,000 人、今年の 3 月末では 3,200 人なので 20%減ったことになります。市全体では 2040 年には 30,000 人になると予想しています。 ・色んな地域に繋がりがあるということで、丹波篠山市だけでは賄えない部分を補うために、近隣他市のサービスを上手く活用して生活することが大事だと思います。
・人口減少問題は以前から話し合うべきだった。西谷では路線バスは朝と夕方の各 1 本。コミバスもあるが使えない。今田町民は三田市か西脇市に買い物に出かける。篠山の市街地が遠いこともあるが、魅力がないから行かないのだと思う。篠山口駅前周辺を元気にしてほしい。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・私の母はスマホで通販を楽しんでいる。老人に楽天や Amazon を教えたら生活が楽になるのではないか。	・いただいたご意見は議会で共有します。

・①篠山口の駅通路を拡幅・増床し、テナントを貼り付けたら賑わいができる。財源は市がJRに預けている9億円の債権を使えばよい。 　②遠方が民間企業の開発で変わってきている。温泉周辺の再開発計画を民間企業で手掛けてもらえないものか。資金面も含めて考えてもらいたい。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・空き家の状況が聞きたい。	・コロナ禍の影響もあって、移住について丹波篠山市は注目されており、問い合わせも増えています。提供できる空き家物件は少ないといった現状がありますので、市は月単位で移住を体験できる「お試し住宅」を事業化しています。
・公的空間でバーベキューができる場所が必要。住民同士のコミュニケーションを増やして地域を活性したい。	・いただいたご意見は議会で共有します。